

ゆうゆうすまいるについて

・平成20年6月の自立支援協議会内身障・知的部会において、「1人暮らしの知的障がい者の生活支援について」のケース検討会議から「通所施設が休みになる休日の過ごし方を工夫することで更なる生活の充実、楽しみがもたらされるのではないか」との意見が挙がる。

・近隣地区に活動はあるものの、地元に着したサークル活動はないかとの意見が保護者から挙がる。

⇒市福祉課、保健師の協力のもと、サークル立ち上げとなった（H21年3月7日）

ゆうゆうすまいるの目的・現状と課題

【目的】

- ・障がい者同士、地域の方々との交流の場や仲間づくりの場
- ・様々な体験を通した障がい者本人の主体的活動、自己表現の場の創設
- ・社会参加の推進、社会生活力の向上を図り、更なる地域生活の充実を目指す。
- ・余暇活動の場としてのいち選択肢になること
- ・ボランティア等を通した障がい者に対する市民の理解促進

【現状と課題】

（現状）

- ・毎月第3土曜日に定期開催中。余暇活動の場所として活用されている。
- ・周知活動、参加者出欠管理、参加費の管理、会場予約（社会福祉課に依頼）、会場設営、物品調達、講師依頼（調理、ダンス、陶芸等）を、相談支援センターで担っている。
- ・年間プログラムは、3月にメンバーと話し合い、スケジュールリング。

（課題）

- ・活動内容と参加メンバーの固定化。
- ・単一機関だけの活動範囲の限界。マンパワー不足。
- ・上記理由によるサークル活動本来の目的達成が困難。

今後の展開について（案）

- 運営体制の見直し。
- 積極的なボランティアの活用。
- 他団体、他機関とのコラボレーション。
- 障がいの有無に関わらず参加が出来る活動への転換